

くろいし 市議会だより



vol. 39

令和4年12月1日発行



10月15日～11月30日に津軽伝承工芸館で行われた「黒石ねぶた師乃会作品展」の様子です。

表紙の写真を募集しています

- 応募資格…市内に在住、勤務、在学している人
- 応募作品…市内で撮影された風景、祭り、行事などのデジタル写真データ
- 応募方法…タイトル、撮影場所、撮影日、住所、氏名、電話番号を明記の上、議会事務局までメールまたは持参等してください。
- メールアドレス…kuro-gikai@city.kuroishi.aomori.jp
- 注意事項…肖像権、著作権を侵害しないよう撮影者自身で被写体の承諾等を得てください。詳細はホームページまたは議会事務局へお問い合わせください。

目次

第3回定例会議案審議	2～3
一般質問	4～6
議案に対する賛否	7
大雨災害被災地視察ほか	8

第3回定例会議案審議

議決した議案等の中から

主なものを紹介します。

○令和4年第3回定例会

会期22日間

9月5日～26日

市長提出議案及び請願など全42件の中から主なものをお知らせします。

なお、各議員の賛否状況については、7頁に記載しています。

また、議案等の一覧はホームページで御覧になれます。

令和3年度各会計

決算認定について



令和3年度一般会計、特別会計、財産区会計及び公営企業会計の合計17件については、議員全員で構成する決算特別委員会において審査し、その後の本会議において全て認定しました。

なお、一般会計、国民健康保険特別会計及び介護保険特別会計については、起立採決により賛成多数で認定となりました。

令和4年度各会計

補正予算について



今回の定例会には、一般会計や特別会計などの補正予算13件が提出され、いずれも承認及び原案のとおり可決しました。なお、一般会計補正予算の一部について次のとおりお知らせします。

○一般会計補正予算（第4号）

6月末及び7月初めに発生した集中豪雨によって被害を受けた道路や農地などを早急に復旧するため、予算を1億715万4千円追加しました。財源は財政調整基金と災害復旧債を見込みました。

○一般会計補正予算（第5号）

8月初めから中旬にかけて発生した集中豪雨に対する避難所設置や早急な被災地復旧のため、予算を1億5515万1千円追加しました。財源は財政調整基金と災害復旧債を見込みました。

令和3年度 一般会計決算

歳入総額	205億3797万744円
歳出総額	182億5045万4143円
歳入歳出差引額	22億8751万6601円

※令和4年度以降に繰り越す分を差し引いた額（実質収支額）

16億9551万4337円

請願等について



今定例会では、請願1件、陳情1件、意見書1件が提出されました。そのうち、採択及び原案可決したものを次のとおり紹介します。

○黒石小学校校庭の使用に関する請願者

スポーツ振興団体黒石A&E及び中郷ベースボールクラブ

★紹介議員（順不同）

村上啓二議員、中田博文議員、後藤秀憲議員、大溝雅昭議員、大久保朝泰議員

★請願事項

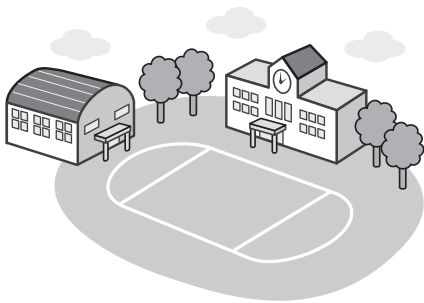
・黒石小学校の校庭を、小学校の児童が放課後に野球やサッカーの練習ができるようにしてほしい。
・校庭の使用が何らかの理由でできない場合は、代替措置を取ってほしい。

★審査の経過と結果

この請願については、今定例会において総務教育常任委員会に付託され、請願者及び市の担当部署と意見交換や質疑を行いました。

その結果、委員会において、現在、中郷中学校と共用している校庭の使用は、中学校の部活動で使用しているため難しいものの、ほかの空き校舎等に対応は可能であるという判断から、全会一致で「採択すべきもの」として決定されました。

その後、本会議においても採択となり、9月26日付で議長から市長へ送付しました。



○西十和田トンネル（仮称）の早期建設を求める意見書提出について
西十和田トンネル（仮称）は、国際的な観光地である十和田湖から津軽一帯、さらには岩手県八幡平圏域への観光ルートへの充実が不可欠であり、平成元年度に初めて要望されてから、当市議会においては長年にわたって要望活動が行われています。

このトンネルが建設されることによって、冬季間の豪雪によって4か月余りの閉鎖を強いられる山岳道路区間の解消、十和田八幡平圏域の観光振興や経済効果が期待できるだけでなく、災害時の避難や救援物資の輸送ルートを確認できることとなります。
本会議において当意見書の提出について審議したところ、時期尚早であるという意見もありましたが、賛成多数で原案のとおり可決し、青森・秋田両県知事へ提出しました。

一般質問

8人が市政を問う

第3回定例会において行われた一般質問の中から、1議員につき2項目程度の質問及び答弁の要旨を質問議員が自ら作成し、掲載しています。内容等で御不明な点は、各議員に直接お尋ねください。

また、ホームページでは、会議録の公開を行っています。一般質問の内容はPDFファイルで御覧になれます。

携帯電話やスマートフォンで下記バーコードを読み取っていただくと簡単に掲載サイトに接続できます。



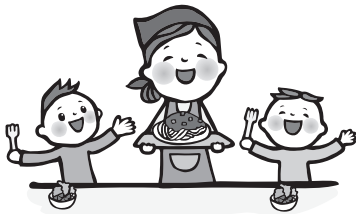
三上 廣大 議員
黒石市民倶楽部

一問一答方式

問 子ども食堂について、今後実施団体との連携と支援の考えはあるか

答 現在、本市において子ども食堂を実施している団体としては、特定非営利活動法人元酒蔵の歴史的建造物を保存・活用する会と、黒石子ども食堂実行委員会の2団体があります。

子ども食堂を通じて、学習支援や子供の居場所づくり等の行政支援につながる事業を行う場合には、その経費を国が補助する制度もあります。今後、子ども食堂実施主体からの要望があれば、補助制度の活用や子育て世帯への支援に必要な連携をしていきます。



工藤 俊広 議員
新自民・公明クラブ

一問一答方式

問 8月の大雨災害について

答 今回の災害は激甚災害の適用を受ける見通しです。被害者の皆様ができる限りの支援策が迅速に届くように手続を進めます。

問 中学校の部活動について

答 令和7年度までに休日の部活動の地域移行が提言されていることから、今後の推移を注視し、協議会の立ち上げなども含めて検討・推進してまいります。

問 中学校の給食について

答 黒石中学校に2校分の調理能力を持つ給食施設を整備し、黒石中学校は自校方式、中郷中学校は黒石中学校から配送する親子方式で実施します。

令和5年度に設計、令和6年度に工事に着手し、令和7年4月から給食を提供する方向で進めます。



大平 陽子 議員
黒石自民クラブ

一問一答方式

問 子ども医療費の高校3年生までの無償化について

答 昨年度から中学生までの無償化が実施されましたが、高校3年生までの無償化も来年度からの実施に向けた検討をしていきます。

問 町内会の現状と課題について

答 市内には126の町内会があり、世帯数はおよそ1万1千世帯です。町内会の相談にはいつでも応じ、課題解決に向けてサポートしています。

問 市独自の不妊治療への助成について

答 今年4月から保険適用されたために、個人負担が増となる場合もあることから、今後、必要に応じて施策を検討していきます。



大溝 雅昭 議員
新自民・公明クラブ

一問一答方式

問 市立図書館の利用状況と利用促進の取組は

答 8月末現在の利用者数は1万492人、図書の貸出数は8340冊です。まずは、児童生徒への利用案内や図書館体験ツアーなどで子供たちにPRを行っていきます。

問 3年ぶりに開催された黒石ねぶた祭り、黒石よされの今後の課題は

答 ねぶた祭りは参加団体の減少、特に人形ねぶたの減少を懸念しています。黒石よされも参加団体、参加者の減少が課題です。両祭りともコロナ禍前に戻らない状況が懸念されるため、関係団体との意見交換を行います。

その他の質問

- ・ 新型コロナウイルス対策について
- ・ 空き家・空き地対策について



工藤 和行 議員
黒石自民クラブ

一問一答方式

問 当市の財政調整基金（市の貯金）の今後の見込みについて

答 今後災害等による取崩しがなければ令和4年度末残高が24億7千万円になる見込みです。令和5年度以降は、（仮称）市民サービス施設建設事業などの大型事業の財源として8億円程度取り崩す予定ですので、大型事業が終了するまでは減少していく見通しです。

問 黒石市まちなかエリアリノベーションプランの実施を踏まえて、今後の財政はどうなるのか

答 （仮称）市民サービス施設建設事業及び新市庁舎建設事業などの大型事業を踏まえた財政シミュレーションを行い、健全な財政運営ができる見通しを立てています。

その他の質問

- ・ 未収金について



大雨で被害を受けた畑

問

今回の大雨による被害を繰り返させないための対策は考えているのか

市民の生活環境及び農業の生産基盤の保全を図るため、治山事業の実施に向けた調査及び早期着手を国や県に対して要望するとともに、適切な維持管理に努めていきます。



今 大介 議員

黒石自民クラブ

一括方式

問

予約型乗合タクシーの本格稼働について

当初は今年10月からの予定でしたが、今年ぶらっと号の路線変更を予定しており、利用者のニーズが変化する可能性もあることから、再検証も含めて令和5年10月からとしました。

問

空き家対策の現状と打開策は

当市の空き家については588戸確認しており、特に危険なものは66戸です。今年度は、主に家屋損壊による危険性について19件の苦情が寄せられています。所有者には空き家の適切な管理をするよう指導しています。今後は（仮称）黒石市空家等対策連絡協議会の設立に取り組み、その中で空き家対策について検討していきます。



中田 博文 議員

新自民・公明クラブ

一問一答方式

問

物価高騰による学校給食の値上げはあるか。また、給食費の保護者負担軽減策は

多少の影響は出ていますが、直ちに値上げすることは考えていません。学校給食費の補助は考えていませんが、就学が困難な方には就学援助事業において対応していきます。

問

民生委員の活動費を増額する考えはあるか

県が定める単価と同額を交付しているほか、市独自の補助も行っています。今後とも県の単価を下げられないように交付します。

問

その他の質問

- ・大雨による農作物被害について
- ・大雨被害による市税等の減免について
- ・黒石病院における新型コロナウイルス感染症の影響について



工藤 禎子 議員

日本共産党

一問一答方式

議案に対する各議員の賛否状況

○は賛成、●は反対、※は議長のため採決に加わっていません。
賛否が分かれた議案等のみを掲載しております。
その他の議案に対する各議員の賛否状況については議会事務局にお問い合わせください。

議案等名	採決結果	佐々木隆	黒石ナナ子	三上廣大	大平陽子	工藤禎子	大久保朝泰	大溝雅昭	後藤秀憲	今大介	工藤和行	工藤俊広	北山一衛	中田博文	工藤和子	村上啓二	村上隆昭
令和3年度黒石市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	※	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度黒石市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	※	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度黒石市介護保険会計歳入歳出決算認定について	認定	※	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
西十和田トンネル(仮称)の早期建設を求める意見書の提出について	原案可決	※	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案への賛成・反対意見

令和3年度黒石市一般会計歳入歳出決算認定について

反対

予算に対して不用額の割合が大きく、残し過ぎではないか。

今後の大型事業のためにできるだけ財源を切り詰めてしまうことは、ほかの市民サービス低下や事業の縮小を強いることになる。不用額の1%があれば1600万円の仕事ができるのだから、もっと不用額を出さずに活用すべきだ。

これでは意欲的な予算執行になっていないと感じるため、反対する。

賛成

令和3年度の実質収支額は過去最高の黒字額であり、財政調整基金も約16億円まで増やしたことは、堅実な予算執行の成果であり、評価すべきだ。

新型コロナウイルスの影響で市内の経済が落ち込む中、様々な経済活性化政策を実行しただけでなく、灯油購入助成金交付や子ども医療費の対象者拡充などといった福祉事業も効果的に実施していることから、財源を有効に活用できていると感じるため、賛成する。

大雨災害被災地視察

8月3日に発生した豪雨による被害状況の確認のため、8月22日に沖揚平方面と毛内上野方面の現地視察を行いました。

沖揚平方面では、のり面が崩れて片側通行になっているところが何か所もあり、レタス畑に大きな被害が出ていました。毛内上野方面では、りんご畑と田んぼに大量の土砂が流れ込み、数か所で除去作業が行われていました。

現地視察の後、議場で担当課から市内の被害状況についての説明を受けました。



沖揚平の野菜畑視察の様子

黒石自民クラブ 行政視察

黒石自民クラブは、8月下旬に、およそ2年半ぶりの行政視察を行いました。

愛媛県西条市では、農業振興についてと、移住・定住支援事業などについて説明を受けました。

また、高知県高知市では、こうちこどもファンドについて説明を受けたほか、2年前に開園した防災公園「弥右衛門公園」の視察を行いました。

視察で得た情報を今後の取組に役立てていけるように、議会等で提言していきます。



愛媛県西条市視察の様子

黒石市と東京都中野区で交流連携協定を結びました



10月28日、東京都中野区役所で行われた「黒石市・中野区交流連携協定締結式」に、佐々木隆議長が出席しました。

これまでの交流や災害時の相互応援体制をさらに前進させ、それぞれの特色、魅力を最大限活用した観光や産業の振興、学術や文化・芸術を通じての市民交流など、両市の繁栄を共に築くための継続的な交流連携を行っていくこととしました。

(写真は左から佐々木隆議長、高樋憲黒石市長、酒井直人中野区長、内川和久中野区議長)



協定締結式の様子

編集後記

議会だよりは、市民の皆さんへ広く議会活動の内容について情報を提供する重要なツールの一つですから、当委員会では議会の説明責任を果たしていくため、議会だよりの掲載方法や内容をさらに研究していきます。

これからも分かりやすく見やすい議会だよりを御覧いただけるように努めていきます。

(工藤 禎子)

議会だより 編集特別委員会

委員長	大溝 雅昭
副委員長	大平 陽子
委員	今 大介
〃	黒石ナナ子
〃	後藤 秀憲
〃	工藤 禎子